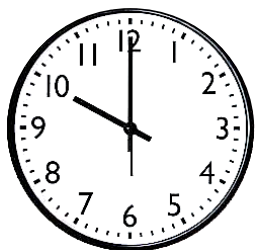


令和 8 (2026) 年度

ふれあい塾



おとなのための参加型学習 - 聴いて 考え 話して 実感 -



- ・日 時：5月～12月（第3火曜日、但し10月は第2火曜日）の10時～正午
※11月17日は10時30分～正午

全8回受講可能な方

- ・会 場：宇都宮市東生涯学習センター
- ・対 象：市内在住か通勤通学する18歳以上の人
- ・定 員：80名（定員を超えた場合は、抽選で決定）
- ・参 加 費：無料
- ・申込み方法：窓口に直接、またはハガキ、Eメールに①～③を書いて申込む

（電話・FAXは不可）

- ① ふれあい塾
- ② 住所、氏名、ふりがな、年齢
- ③ 電話番号



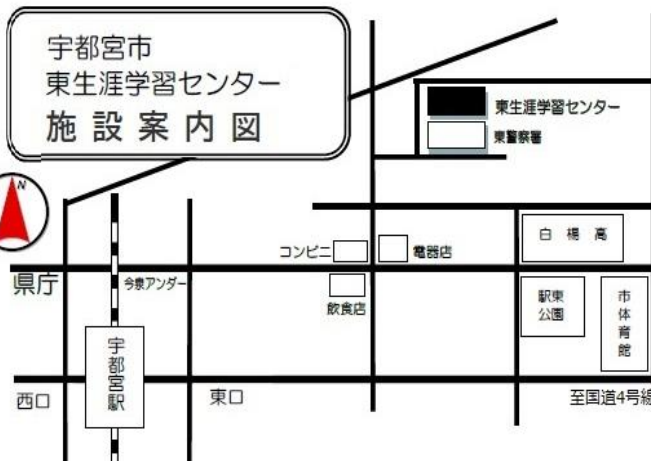
こちらからも
申込みできます。

- ・申込み締切：4月10日（金）（必着）まで
- ・申 込 先：〒321-0968 宇都宮市中今泉3丁目5-1
東生涯学習センター
- ・Eメール：u47090001@city.utsunomiya.tochigi.jp



魅力あふれるテーマの数々

- ・日程、内容等詳細は裏面をご覧ください。
- ・話し合いを行う講座もあります。
- ・講座企画：生涯学習講座企画・運営ボランティア
（Vスタッフ）「東泉会」
- ・お問い合わせ：宇都宮市中今泉3丁目5-1
東生涯学習センター（東図書館内）
TEL 028-638-5782



塾の目標：“聴く・考える・話し合う学習の場”を目指す。

開講時間：午前10時～12時（11月17日は10時30分～12時） 会場：東生涯学習センター

回	実施日	学習テーマ	学 習 目 標 (内容)	講 師 等
1	5月19日 (第3火)	・開講式 ・「音楽 de 世界旅行」	ヴァイオリン・ピオラ・ピアノ・歌で世界を旅するコンサート。 童謡からクラシックまで名曲を集めた、世界の音楽、トークを交えたコンサートを楽しむ。	マロニエトリオ 桑川 吉見 氏 桑川 正子 氏 宮地 ゆみ 氏
2	6月16日 (第3火)	「空・土地・暮らし 雷都から広がる栃木の新発見」	私たちが暮らす栃木について、自然地理学が対象とする「気象や気候・地形」の観点から、クイズや簡単な作業を交えながら楽しく学びます。 自然と私たちの日常生活との関わりや影響、これからの向き合い方などを考え、新たな見方を得られることを目指します。	宇都宮大学 共同教育学部准教授 瀧本 家康 氏 他
3	7月21日 (第3火)	「宇都宮氏と小倉百人一首」	かるた遊びとして広まった「小倉百人一首」は、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて活動した公家・藤原定家が選んだ秀歌撰であると考えられている。その成立と宇都宮氏の関わりについて学ぶ。	宇都宮市魅力創造部 文化都市推進課職員
4	8月18日 (第3火)	「絵画鑑賞の楽しみ方」	西洋美術の絵画作品の中から、数点の作品を選び鑑賞する。作品は時代も地域も異なる多様な、とはいえ、いずれも美術史上大切な作品を選ぶ。それぞれの作品の時代背景などを解説し、作品の特徴を理解し、鑑賞のポイントを学ぶ。作品には、栃木県立美術館や宇都宮美術館の所蔵作品も含む。講座学習後、栃木県立美術館や宇都宮美術館の所蔵する絵画で、見る楽しさを深める。	文星芸術大学学長 田中 久美子 氏
5	9月15日 (第3火)	「道鏡と勝道～二人の僧の生き方～」	下野薬師寺に縁の深い「道鏡」と「勝道」は、奈良時代に共に山岳修行を極め、歴史上大きな足跡を残した僧侶と言われている。 歴史教科書で必ず取り上げられる道鏡と、史料が少ない勝道について、二人の僧の生き方を軸に、毀誉褒貶も含めて、新しい知見や地元の伝説も取り入れながら、改めて考え直すことを目標としている。	元栃木県立文書館長 鈴木 健一 氏
6	10月13日 (第2火)	「SDGsとWell-beingの視点から考えるプラスチック問題～私たちの暮らしと地球の未来をつなぐ選択」	ペットボトルや食品容器など、身近なプラスチックが私たちの暮らしや健康、自然環境、そして世界の人びとの Well-being にどのようにつながっているのかを、SDGs の視点から学ぶ。海洋プラスチック問題や海外の事例を手がかりに、無理なく続けられる消費者としての選択や行動を考える。	宇都宮大学 国際学部教授 多文化公共圏センター長 高橋 若菜 氏
7	11月17日 (第3火)	「日本銀行券の製造技術と紙幣の歴史について」	決裁システムにおいて重要な役割を果たす日本銀行券には、様々な偽造防止技術が採用されている。本講座では、現在の日本銀行券に採用された偽造防止技術やユニバーサルデザインを実際に体験するとともに、製造工程、製造技術の歴史的変遷も学ぶ。	独立行政法人国立印刷局 広報官室 松村 記代子 氏 お札と切手の博物館 学芸員 林 直子 氏
8	12月15日 (第3火)	・「魅惑のインド舞踊」 ～あなたを南インドの寺院へ誘います～ ・閉講式	ヒンドゥー教の寺院の中で、神々を讃えるために育まれたインド舞踊。公演の前に今回登場する神々のエピソードや特徴を、画像や実際の動きで説明し、理解を深める。自然現象、感情、行動あらゆる現象を体の動き、顔の表情、細やかな指使いで表現。客席の皆様も一緒に寺院の中を参拝してください。	インド舞踊家 マチコ・ラクシュミー 氏 インド舞踊ユニット ガウリ&マリーチ 関内 香織 氏 平田 真弓 氏